

I 教育課程表

1. 人間生活学専攻（2018年度入学生に適用）

科目コード	他専攻受入れ	他大学院受入れ	遠隔授業対応	分野	授業科目	単位数		開講学年・週時数				担当者	教職	備考		
						必修	選択	1		2						
								前	後	前	後					
h0101	△	△	△	人間生活分野	人間生活学特講Ⅰ(人間生活学原論)	2	2					飯村 しのぶ	○	隔年（2019年度開講）		
h0201	△	△	△		人間生活学特講Ⅱ(生活と教育)	2		2					伊井 義人		○	
h0511	△	△	△		人間生活学特講Ⅲ(生活と思想)	4	2	2					内田 博			
h0611	△	×	×		人間生活学特講Ⅳ(生涯発達と学習)	4	2	2					新川 貴紀		○	
h0711	△	△	△		人間生活学特講Ⅴ(子どもと社会)	2		○					木脇 奈智子			
h0311	△	×	△		人間生活学演習Ⅰ	4	2	2					伊井 義人		○	
h0351	△	×	△		人間生活学演習Ⅱ	4	2	2					内田 博			
h1101	△	△	△	生活環境分野	生活環境学特講Ⅰ(都市環境論Ⅰ)	2	2					田中 宏実	○	2018年度開講せず		
h1201	△	×	×		生活環境学特講Ⅱ(都市環境論Ⅱ)	2		2					田中 宏実		○	
h1401	△	×	×		生活環境学特講Ⅲ(生活環境論)	4	2	2					未定			
h1601	△	△	△		生活環境学特講Ⅳ(家族と生活文化)	4	2	2					木脇 奈智子		○	
h1701	△	△	△		生活環境学特講Ⅴ(人間生活と食文化)	2		2					岡崎 由佳子		○	
h1801	△	×	△		生活環境学特講Ⅵ(人間生活と衣文化)	2		2					長尾 順子		○	
h1301	△	×	×		生活環境学演習Ⅰ	4	2	2					田中 宏実		○	
h1501	△	×	△		生活環境学演習Ⅱ	4	2	2					木脇 奈智子		○	
h1511	△	×	△		生活環境学演習Ⅲ	4	2	2					岡崎 由佳子		○	
h2101	△	△	△	生活福祉分野	生活福祉学特講Ⅰ(障害と福祉Ⅰ)	2	2					若狭 重克		隔年（2019年度開講） (前期) (後期)		
h2201	△	△	△		生活福祉学特講Ⅱ(障害と福祉Ⅱ)	2		2					若狭 重克			
h2401	△	△	△		生活福祉学特講Ⅲ(医療と福祉)	4	2	2					小沼 春日 若狭 重克			
h2611	△	△	△		生活福祉学特講Ⅳ(地域福祉) ※	生活福祉学特講Ⅳ(地域福祉) ※	4	2	2				小沼 春日		隔年（2018年度開講）	
h2612			×													生活福祉学特講Ⅳ(地域福祉) ※
h2701	△	△	△		生活福祉学特講Ⅴ(経済と福祉)	4	2	2					内田 博			
h2801	△	×	×		生活福祉学特講Ⅵ(子どもと福祉) ※	生活福祉学特講Ⅵ(子どもと福祉) ※	2		○				船木 幸弘			
h2802			△													生活福祉学特講Ⅵ(子どもと福祉) ※
h2301	△	×	△		生活福祉学演習Ⅰ	4	2	2					若狭 重克			
h2501	△	×	△	生活福祉学演習Ⅱ	4	2	2					小川 恭子				
h3101	×	×	△	特別研究※	特別研究※							○	伊井 義人 内田 博 岡崎 由佳子 木脇 奈智子 田中 宏実 若狭 重克 小川 恭子	}		人間生活分野
h3102			△													生活環境分野
h3103			△												生活福祉分野	
h3104			△													
h3105			△													
h3106			△													
h3107			△													

※担当者を選択（複数担当者の履修登録不可）

人間生活学専攻（2017年度入学生に適用）

科目コード	他専攻受入れ	他大学院受入れ	遠隔授業対応	分野	授業科目	単位数		開講学年・週時数				担当者	教職	備考		
						必修	選択	1		2						
								前	後	前	後					
h0101	△	△	△	人間生活分野	人間生活学特講Ⅰ(人間生活学原論)	2		2				飯村しのぶ	○	2018年度開講せず		
h0201	△	△	△		人間生活学特講Ⅱ(生活と教育)	2		2					伊井 義人		○	
h0301	△	×	△		人間生活学演習※		4	2	2				伊井 義人		○	
h0302			△													
h0303			△													
h0401	△	△	△		人間生活学特講Ⅲ(人間と宗教)※		4		2	2			阿部 包			隔年(2018年度開講)
h0402			△													
h0501	△	△	△		人間生活学特講Ⅳ(生活と思想)※		4		2	2			内田 博			隔年(2018年度開講)
h0502			△													
h0601	△	×	×		人間生活学特講Ⅴ(生涯発達と学習)		4	2	2				新川 貴紀		○	
h0701	△	△	△	人間生活学特講Ⅵ(子どもと社会)		2		○				木脇奈智子		2018年度開講せず		
h1101	△	△	△	生活環境分野	生活環境学特講Ⅰ(都市環境論Ⅰ)	2	2					田中 宏実	○	2018年度開講せず		
h1201	△	×	×		生活環境学特講Ⅱ(都市環境論Ⅱ)	2	2	2				田中 宏実	○			
h1301	△	×	×		生活環境学演習Ⅰ	4	2	2				未定			2018年度開講せず	
h1401	△	×	×		生活環境学特講Ⅲ(生活環境論)	4	2	2				未定	○		2018年度開講せず	
h1501	△	×	△		生活環境学演習Ⅱ※		4	2	2				岡崎由佳子		○	
h1502			△													
h1601	△	△	△		生活環境学特講Ⅳ(家族と生活文化)	4	2	2				木脇奈智子	○			
h1701	△	△	△		生活環境学特講Ⅴ(人間生活と食文化)	2	2	2				岡崎由佳子	○			
h1801	△	×	△	生活環境学特講Ⅵ(人間生活と衣文化)	2	2	2				長尾 順子	○				
h2101	△	△	△	生活福祉分野	生活福祉学特講Ⅰ(障害と福祉Ⅰ)	2	2					若狭 重克		2018年度開講せず		
h2201	△	△	△		生活福祉学特講Ⅱ(障害と福祉Ⅱ)	2	2	2				若狭 重克				
h2301	△	×	△		生活福祉学演習Ⅰ※		4	2	2				若狭 重克			
h2302			△													
h2401	△	△	△		生活福祉学特講Ⅲ(医療と福祉)	4	2	2				小沼 春日 若狭 重克			(前期) (後期)	
h2501	△	×	△		生活福祉学演習Ⅱ※		4	2	2				内田 博			
h2502			△													
h2611	△	△	△		生活福祉学特講Ⅳ(地域福祉)※		4	2	2				小沼 春日 船木 幸弘			
h2612			×													
h2701	△	△	△		生活福祉学特講Ⅴ(経済と福祉)	4	2	2				内田 博				
h2801	△	×	×	生活福祉学特講Ⅵ(子どもと福祉)※		2		○				船木 幸弘 小川 恭子				
h2802			△													
h3101	×	×	△	特別研究※		6						伊井 義人 木脇奈智子 岡崎由佳子 内田 博 若狭 重克 小川 恭子		人間生活分野 生活環境分野 生活福祉分野		
h3104			△													
h3103			△													
h3102			△													
h3106			△													
h3107			△													

※担当者を選択（複数担当者の履修登録不可）

2. 食物栄養学専攻（2018年度入学生に適用）

科目 コード	他専攻 受入れ	他大学 院 受入れ	遠隔 授業 対応	分野	授業科目	単位数 必修	開講学年・週時数				担当者	教職	備考	
							1		2					
							前	後	前	後				
s0011	△	×	×	基礎 科目	食物栄養学概論	2	2				原 博	集中講義		
s0021	△	×	△		栄養統計学概論	2	2				小山田 正人 田中 清			
s0101	△	△	×	食品 品質 分野	食品品質学特論Ⅰ	2	2				松坂 裕子	○		
s0201	×	×	×		食品品質学演習Ⅰ	4	2	2				松坂 裕子	○	
s0301	△	△	△		食品品質学特論Ⅱ	2	2					池田 隆幸	○	
s0401	×	×	△		食品品質学演習Ⅱ	4	2	2				池田 隆幸	○	
s0411	△	△	△		食品品質学特論Ⅲ	2	2					菊地 和美 村田 まり子	○	
s0421	×	×	△		食品品質学演習Ⅲ	4	2	2				菊地 和美	○	
s0511	△	×	×		食品加工機能学特論	2	2					中川 良二	○	
s1101	△	△	×	生体 機能 分野	生体機能学特論Ⅰ	2	2				中河原 俊治	○		
s1211	×	×	×		生体機能学演習Ⅰ	4	2	2				中河原 俊治	○	
s1301	△	△	△		生体機能学特論Ⅱ	2	2					大西 正男	○	
s1411	×	×	△		生体機能学演習Ⅱ	4	2	2				大西 正男	○	
s1311	△	×	△		生体機能学特論Ⅲ	2	2					三田村 理恵子 西向 めぐみ	○	
s1511	×	×	△		生体機能学演習Ⅲ	4	2	2				三田村 理恵子	○	
s2111	△	△	△	栄養 管理 分野	公衆栄養学特論Ⅰ	2	2				小山田 正人	○		
s2211	×	×	△		公衆栄養学演習Ⅰ	4	2	2				小山田 正人	○	
s2251	△	×	×		公衆栄養学特論Ⅱ	2	○					松本 恵	○	
s2301	△	△	△		栄養管理学特論Ⅰ	2	2					藤井 義博	○	
s2411	×	×	△		栄養管理学演習Ⅰ	4	2	2				藤井 義博	○	
s2501	△	△	×		栄養管理学特論Ⅱ	2	2					中川 幸恵	○	
s2601	×	×	×		栄養管理学演習Ⅱ	4	2	2				中川 幸恵	○	
s2701	△	△	△		栄養管理学特論Ⅲ	2			2			小山田 正人	○	
s2801	△	×	×		栄養管理学特論Ⅳ	2	2					中川 幸恵 石川 祐一 児玉 佳之 小西 徹夫 佐久間 一郎 角田 政隆	○	
s2901	△	×	△		共通	食物栄養学総合講義	4	2	2			松坂 裕子 池田 隆幸 大西 正男 小山田 正人 菊地 和美 中川 幸恵 中河原 俊治 藤井 義博 三田村 理恵子 村田 まり子		
s3001	×	×	△	食物栄養学研究法※	4		○				池田 隆幸	}	食品 品質 分野	
s3002			△								菊地 和美			
s3003			×								松坂 裕子			
s3004			×								中河原 俊治			
s3005			△								三田村 理恵子		}	生体 機能 分野
s3006			△								小山田 正人			
s3007			△								藤井 義博		}	栄養 管理 分野
s3008			×								中川 幸恵			
s3101	×	×	△	特別研究※	6		○				池田 隆幸	}	食品 品質 分野	
s3102			△								菊地 和美			
s3103			×								松坂 裕子			
s3104			×								中河原 俊治			
s3105			△								三田村 理恵子		}	生体 機能 分野
s3106			△								小山田 正人			
s3107			△								藤井 義博		}	栄養 管理 分野
s3108			×								中川 幸恵			

※担当者を選択（複数担当者の履修登録不可）

食物栄養学専攻 (2017年度入学生に適用)

科目コード	他専攻受入れ	他大学院受入れ	遠隔授業対応	分野	授業科目	単位数		開講学年・週時数				担当者	教職	備考	
						必修	選択	1		2					
								前	後	前	後				
s0011	△	×	×	基礎科目	食物栄養学概論	2	2					原 博		集中講義	
s0021	△	×	△		栄養統計学概論	2	2					小山田正人 田中 清			
s0101	△	△	×	食品品質分野	食品品質学特論Ⅰ	2	2					松坂 裕子	○		
s0201	×	×	×		食品品質学演習Ⅰ	4	2	2					松坂 裕子		○
s0301	△	△	△		食品品質学特論Ⅱ	2	2						池田 隆幸		○
s0401	×	×	△		食品品質学演習Ⅱ	4	2	2					池田 隆幸		○
s0411	△	△	△		食品品質学特論Ⅲ	2	2						菊地 和美 村田 まり子		○
s0421	×	×	△		食品品質学演習Ⅲ	4	2	2					菊地 和美		○
s0511	△	×	×		食品加工機能学特論	2	2						中川 良二		○
s1101	△	△	×	生体機能分野	生体機能学特論Ⅰ	2	2					中河原俊治	○		
s1211	×	×	×		生体機能学演習Ⅰ※	4	2	2					中河原俊治		○
s1212			△										三田村理恵子		
s1301	△	△	△		生体機能学特論Ⅱ	2	2						大西 正男		○
s1411	×	×	△		生体機能学演習Ⅱ	4	2	2					大西 正男		○
s1311	△	×	△		生体機能学特論Ⅲ	2	2						三田村理恵子 西向 めぐみ		○
s2111	△	△	△	栄養管理分野	公衆栄養学特論Ⅰ	2	2					小山田正人	○	集中講義	
s2211	×	×	△		公衆栄養学演習Ⅰ	4	2	2					小山田正人		○
s2251	△	×	×		公衆栄養学特論Ⅱ	2	○						松本 恵		○
s2301	△	△	△		栄養管理学特論Ⅰ	2	2						藤井 義博		○
s2411	×	×	△		栄養管理学演習Ⅰ	4	2	2					藤井 義博		○
s2501	△	△	×		栄養管理学特論Ⅱ	2	2						中川 幸恵		○
s2601	×	×	×		栄養管理学演習Ⅱ	4	2	2					中川 幸恵		○
s2701	△	△	△		栄養管理学特論Ⅲ	2			2				小山田正人		○
s2801	△	×	×		栄養管理学特論Ⅳ	2	2						中川 幸恵 石川 祐一 児玉 佳之 小西 徹夫 佐久間一郎 魚田 政隆		○
s2901	△	×	△		共通	食物栄養学総合講義	4	2	2				松坂 裕子 池田 隆幸 大西 正男 小山田 正人 菊地 和美 中川 幸恵 中河原 俊治 藤井 義博 三田村 理恵子 村田 まり子		
s3001	×	×	△		食物栄養学研究法※	4		○				池田 隆幸		}	
s3002		△										菊地 和美			
s3003		×										松坂 裕子			
s3004		×										中河原俊治			
s3005		△										三田村理恵子			
s3006		△										小山田正人			
s3007		△										藤井 義博			
s3008		×										中川 幸恵			
s3101	×	×	△		特別研究※	6	○					池田 隆幸		}	
s3102		△										菊地 和美			
s3103		×										松坂 裕子			
s3104		×										中河原俊治			
s3105		△										三田村理恵子			
s3106		△										小山田正人			
s3107		△										藤井 義博			
s3108		×										中川 幸恵			

※担当者を選択 (複数担当者の履修登録不可)

Ⅱ 修了の要件

1. 本大学院を修了するためには合計 30 単位以上修得し、かつ修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。

人間生活学専攻

- ※ 所属する分野の特別研究とその指導教員の講義および演習を必修とする。
- ※ 所属する分野以外の各分野の科目を 1 科目以上選択する。

食物栄養学専攻

- ※ 「食物栄養学総合講義」を必修とする。
- ※ 所属する分野の特別研究とその指導教員の講義、演習および食物栄養学研究法を必修とする。
- ※ 所属する分野以外の各分野の科目を 1 科目以上選択する。

2. 成績評価は、次のとおりである。

評価基準

	点数	評価	
		2016年度 入学生	2015年度 以前入学生
合格	100～90	A+	優
	89～80	A	
	79～70	B	良
	69～60	C	可
	—	認定	認定
不合格	59～ 0	F	不可
	—	不認定	不認定
放棄	—	放棄	放棄

※不合格、放棄の成績は、成績証明書には表記しない。

Ⅲ 研究指導計画書の作成について

研究課題や研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導計画を明示するため、学生の入学年度当初において「研究指導計画書」（以下「計画書」という）を作成する。

作成の手続きは、以下の手順で行う。

- ① 「計画書」の様式は、右のとおりとする。
- ② 指導教員は、学生と十分な打ち合わせを行い「計画書」を作成する。
- ③ 「計画書」は、入学年度の履修登録確定時まで
に指導する学生ごとに作成する。
- ④ 「計画書」は、研究指導が修了するまで、指導
教員が研究指導の記録として保管する。
- ⑤ 「計画書」の写しを4月末までに教務課に提出する。
- ⑥ 研究の進捗状況等により計画の見直しを行った場合は、
新たな「計画書」を再提出する。

年度 藤女子大学大学院人間生活学研究科 研究指導計画書
【西暦 年 月 日作成】

学 籍 番 号	学 生 氏 名		指導教員	
専 攻 名	年次	年次	入学 年度	西暦 年度
研 究 題 目				
指導教員名	印	副指導教員名	印	
研究実施計画	研究実施計画 指導教員(相談の上、学生が記入) (研究の概要、研究目的、研究方法、研究計画等を含む)			
研究進捗計画	研究進捗計画 指導教員記入 (年間指導計画等も含め、具体的に記入)			
教務 課印				教務課定印

研究の進捗状況を把握するために修士論文作成中間報告会（2年次 5月下旬～6月上旬の予定）を行い、研究内容、研究方法等の妥当性や関連文献とのかかわりなどについて討議し、学生は今後の研究への取り組みについて助言や指導を受ける。

その後、学生は「藤女子大学大学院人間生活学研究科修士論文規程」に基づき、学位論文を完成・提出し、修士論文発表会を経て学位論文の審査及び最終試験を受ける。

Ⅳ 修士論文について

1. 藤女子大学大学院人間生活学研究科修士論文規程

（指導教員）

第1条 修士論文（以下「論文」という。）の作成指導を行うために、指導教員を定める。

2 指導教員は、藤女子大学大学院人間生活学研究科（以下「研究科」という。）において特別研究を担当する教員1名とする。

3 やむを得ない事由がある場合には、指導教員が代わることがある。

4 指導教員の指導を補佐するため、副指導教員を置くことができる。

Ⅲ 研究指導計画書の作成について

研究課題や研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導計画を明示するため、学生の入学年度当初において「研究指導計画書」（以下「計画書」という）を作成する。

作成の手続きは、以下の手順で行う。

- ① 「計画書」の様式は、右のとおりとする。
- ② 指導教員は、学生と十分な打ち合わせを行い「計画書」を作成する。
- ③ 「計画書」は、入学年度の履修登録確定時まで
に指導する学生ごとに作成する。
- ④ 「計画書」は、研究指導が修了するまで、指導
教員が研究指導の記録として保管する。
- ⑤ 「計画書」の写しを4月末までに教務課に提出する。
- ⑥ 研究の進捗状況等により計画の見直しを行った場合は、
新たな「計画書」を再提出する。

年度 藤女子大学大学院人間生活学研究科 研究指導計画書
【西暦 年 月 日作成】

学 籍 番 号	学 生 氏 名		指導教員	
専 攻 名	年次	年次	入学 年度	西暦 年度
研 究 題 目				
指導教員名	印	副指導教員名	印	
研究実施計画	研究実施計画 指導教員(相談の上、学生が記入) (研究の概要、研究目的、研究方法、研究計画等を含む)			
研究進捗計画	研究進捗計画 指導教員記入 (年間指導計画等を含む、具体的に記入)			
教務 課印				教務課定印

研究の進捗状況を把握するために修士論文作成中間報告会（2年次 5月下旬～6月上旬の予定）を行い、研究内容、研究方法等の妥当性や関連文献とのかかわりなどについて討議し、学生は今後の研究への取り組みについて助言や指導を受ける。

その後、学生は「藤女子大学大学院人間生活学研究科修士論文規程」に基づき、学位論文を完成・提出し、修士論文発表会を経て学位論文の審査及び最終試験を受ける。

Ⅳ 修士論文について

1. 藤女子大学大学院人間生活学研究科修士論文規程

（指導教員）

第1条 修士論文（以下「論文」という。）の作成指導を行うために、指導教員を定める。

2 指導教員は、藤女子大学大学院人間生活学研究科（以下「研究科」という。）において特別研究を担当する教員1名とする。

3 やむを得ない事由がある場合には、指導教員が代わることがある。

4 指導教員の指導を補佐するため、副指導教員を置くことができる。

(題目の届出)

第2条 論文を提出しようとする者は、あらかじめ指導教員の指導を受け、修了年度の前期授業終了日までに、修士論文題目届(様式1)を研究科長に提出するものとする。

2 やむを得ない事情により題目を変更する者は、指導教員の承認を受け、修士論文題目変更届(様式2)を研究科長に提出するものとする。

(審査の願い出)

第3条 論文の審査を願い出る者は、次の書類を研究科長に提出するものとする。

- | | | |
|------------------|-----|-----|
| (1) 修士論文審査願(様式3) | 1部 | |
| (2) 修士論文 | 正1部 | 副2部 |
| (3) 略歴書(様式4) | 1部 | |

(願い出の期限)

第4条 論文の審査の願い出の期限は、修了年度の2月9日正午までとする。ただし、2月9日が休日の場合は2月10日正午までとする。

(審査の付託)

第5条 研究科長は論文を受理したとき、審査委員会に論文審査及び最終試験を付託する。

2 審査委員会に関する規程は、別に定める。

(研究科委員会の審議)

第6条 研究科委員会は、審査委員会の報告に基づいて合否の判定を行うものとする。

(再審査)

第7条 論文の審査に不合格になった者には、後日、再提出を求め再審査をすることがある。

(保管)

第8条 論文は、本学図書館に保管する。

附 則

- 1 この規程は、2003年4月23日から施行する。
- 2 2002年4月1日制定の藤女子大学人間生活学研究科修士論文規程は、廃止する。

附 則

この規程は、2003年12月10日から施行する。

附 則

この規程は、2004年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2007年7月26日から施行する。

附 則

この規程は、2014年4月1日から施行し、2015年度修了予定者から適用する。

<注意> 修士論文の各届出用紙は、提出の際にはA4サイズの様式を使用すること。

2. 修士論文の評価基準

修士論文は、以下の各項目に関する審査結果を基に、総合的に判断してその成績を評価する。

- 1) 当該研究領域において、修士としての十分な知識と能力が認められる。
- 2) 研究テーマの設定が妥当であり、また論文作成に当って問題意識が十分明確である。
- 3) 論述（本文、図、表、引用、文献表など）が適切であり、論理構成が首尾一貫している。
- 4) 採用された研究方法、調査・実験方法、論証方法が適切であり、また論証に当っての分析・考察が十分論理的かつ具体的である。
- 5) 当該研究領域の理論的・実証的見地に照らして、独自の価値が認められる。
- 6) 外国語文献読解や外国における調査が要求されるテーマについては、必要とされる当該外国語に関する十分な能力が認められる。

3. 修士論文作成スケジュール・モデル

内 容	日 程	摘 要 (担 当)
① 学位論文題目提出受付 修士論文題目届 1部	6月30日(土)より 7月27日(金)まで 17時締切	教務課 ☆届出用紙はポータルサイト「F-Station」よりダウンロード
② 学位論文題目変更届受付 修士論文題目変更届 1部	題目提出後随時	教務課（該当者のみ） ☆届出用紙は教務課で配付
③ 審査委員会設置	11月中旬	研究科委員会
④ 学位論文審査受付 修士論文審査願 1部 修士論文 正1部 副2部以上 略歴書 1部	2019年 2月9日(土)まで 12時締切	教務課 ☆願出用紙・略歴書用紙はポータルサイト「F-Station」よりダウンロード 論文の製本は指導教員の指示に従うこと
⑤ 学位論文の審査および最終試験の実施とその判定	修士論文受理後～ 2月末日までの期間	審査委員会
⑥ 学位授与の可否を決定（修了判定会議）	3月7日(木) (修了判定会議)	研究科委員会
⑦ 修了判定結果発表	3月8日(金)	教務課（公示板に掲示）
⑧ 要旨、保存用修士論文(1部)提出	3月11日(月)	教務課
⑨ 学位記の授与(学位記授与式)	3月19日(火)	

※ 特別履修者の日程は別に定める。（該当者に別途通知する。）

以下のモデルを参考にして、指導教員の指導の下に、自らの計画を作成すること。

1) 人間生活学専攻

1年次	4月～	論文テーマ検討
	10月末	論文テーマ確定
	1月末	論文構想（章立て、実験・調査計画等）確定
2年次	5月下旬～	
	6月上旬	論文作成中間報告会

7月27日	論文題目提出
2月9日	論文提出
2月23日	論文発表会

2) 食物栄養学専攻

1年次	4月～	論文テーマ検討
	8月末	論文テーマ確定
		論文構想（実験・調査計画等）確定 実験・調査の実施
2年次	5月下旬～	
	6月上旬	論文作成中間報告会
	7月27日	論文題目提出
	2月9日	論文提出
	2月23日	論文発表会

4. 修士論文の保存と要旨について

修士論文審査に合格し修了する大学院生の修士論文は、図書館に保存する。

要旨は、下記の要領で作成し印刷したものを、保存用修士論文とともに教務課に提出する。

1) 修士論文

1部を提出する。製本は不要。ページ数が多い場合は、資料等を別冊にしてもよい。

2) 要旨

(様式)

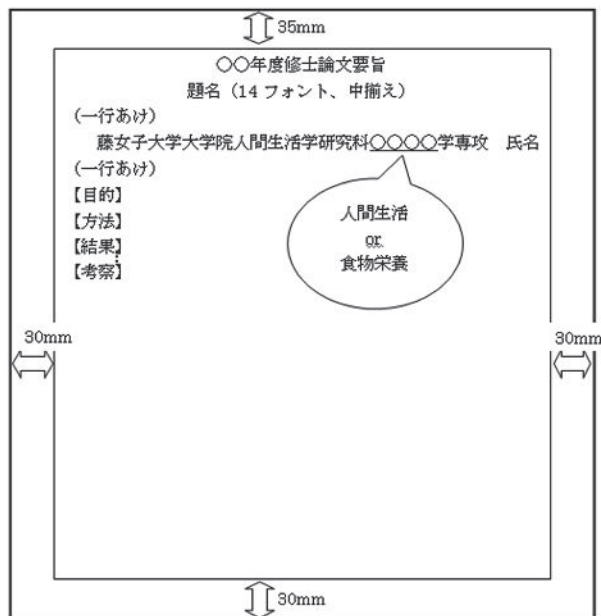
- ・ A4サイズ、2枚以内
- ・ 余白は上35mm、左右下30mm。
- ・ 文字数および行数は設定自由
- ・ 題目は14フォントで中揃え、所属と氏名は11フォントで右揃え
- ・ 一行目「〇〇年度修士論文要旨」

(西暦で書くこと)と【目的】

以下の文章は、

Windowsの場合は10.5フォント、

Macの場合は11フォント



V 教職課程履修要項

1. 人間生活学研究科で取得できる教育職員免許状の種類と免許教科

本大学院では、以下の教育職員専修免許状を取得することができる。
ただし、すでに当該専修免許状の基礎となる一種免許状等を取得している者に限る。

専攻	免許状の種類	免許教科
人間生活学専攻	中学校教諭専修免許状	家庭
	高等学校教諭専修免許状	家庭
食物栄養学専攻	栄養教諭専修免許状	

2. 教育職員専修免許状授与の基礎資格と最低修得単位数

授与免許状	基礎資格		最低修得単位数
中学校教諭専修免許状（家庭）	中学校教諭一種免許状（家庭）	修士の学位を取得すること	大学が独自に設定する科目 24単位以上
高等学校教諭専修免許状（家庭）	高等学校教諭一種免許状（家庭）		大学が独自に設定する科目 24単位以上
栄養教諭専修免許状	栄養教諭一種免許状 管理栄養士免許		大学が独自に設定する科目 24単位以上

3. 中学校・高等学校教諭専修免許状取得について

次表の授業科目の中から24単位以上を修得すること。

<2018年度入学生に適用>

家庭

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目			備考
科目	単位数	授業科目	単位数		
			必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	24	人間生活学特講Ⅰ（人間生活学原論）		2	このうち 24単位 選択必修
		人間生活学特講Ⅱ（生活と教育）		2	
		生活環境学特講Ⅰ（都市環境論Ⅰ）		2	
		生活環境学特講Ⅱ（都市環境論Ⅱ）		2	
		生活環境学特講Ⅳ（家族と生活文化）		4	
		生活環境学特講Ⅴ（人間生活と食文化）		2	
		生活環境学特講Ⅵ（人間生活と衣文化）		2	
		生活環境学演習Ⅰ		4	
		生活環境学演習Ⅱ		4	
		生活環境学演習Ⅲ		4	
教育の基礎的理解に関する科目		人間生活学特講Ⅳ（生涯発達と学習）		4	
		人間生活学演習Ⅰ		4	

<2017年度入学生に適用>

家庭

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目			備考
科目	単位数	授業科目	単位数		
			必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	24	人間生活学特講Ⅰ（人間生活学原論）		2	このうち 24単位 選択必修
		人間生活学特講Ⅱ（生活と教育）		2	
		生活環境学特講Ⅰ（都市環境論Ⅰ）		2	
		生活環境学特講Ⅱ（都市環境論Ⅱ）		2	
		生活環境学特講Ⅲ（生活環境論）		4	
		生活環境学演習Ⅱ		4	
		生活環境学特講Ⅳ（家族と生活文化）		4	
		生活環境学特講Ⅴ（人間生活と食文化）		2	
生活環境学特講Ⅵ（人間生活と衣文化）		2			
教育の基礎的理解に関する科目		人間生活学特講Ⅴ（生涯発達と学習）		4	
		人間生活学演習Ⅰ		4	

4. 栄養教諭専修免許状取得について

次表の授業科目の中から24単位以上を修得すること。

<2018年度入学生に適用>

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目			備考
科目	単位数	授業科目	単位数		
			必修	選択	
大学が加える栄養に係る教育に関する科目に準ずる科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生体機能学特論Ⅰ		2	このうち 24単位 選択必修
		生体機能学演習Ⅰ		4	
		生体機能学特論Ⅱ		2	
		生体機能学演習Ⅱ		4	
		生体機能学特論Ⅲ		2	
		生体機能学演習Ⅲ		4	
	食べ物と健康	食品品質学特論Ⅰ		2	
		食品品質学演習Ⅰ		4	
		食品品質学特論Ⅱ		2	
		食品品質学演習Ⅱ		4	
		食品品質学特論Ⅲ		2	
		食品品質学演習Ⅲ		4	
	栄養教育論	食品加工機能学特論		2	
		栄養管理学特論Ⅲ		2	
	臨床栄養学	栄養管理学特論Ⅰ		2	
		栄養管理学演習Ⅰ		4	
		栄養管理学特論Ⅱ		2	
		栄養管理学演習Ⅱ		4	
公衆栄養学	栄養管理学特論Ⅳ		2		
	公衆栄養学特論Ⅰ		2		
	公衆栄養学演習Ⅰ		4		
	公衆栄養学特論Ⅱ		2		

<2017年度入学生に適用>

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目			備 考	
大 学 が 加 え る 栄 養 に 係 る 教 育 に 関 す る 科 目 に 準 ず る 科 目	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数			
				必修	選択		
大学 が 加 え る 栄 養 に 係 る 教 育 に 関 す る 科 目 に 準 ず る 科 目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	24	生体機能学特論Ⅰ		2	このうち 24単位 選択必修	
			生体機能学演習Ⅰ		4		
			生体機能学特論Ⅱ		2		
			生体機能学演習Ⅱ		4		
			生体機能学特論Ⅲ		2		
	食べ物と健康			食品品質学特論Ⅰ			2
				食品品質学演習Ⅰ			4
				食品品質学特論Ⅱ			2
				食品品質学演習Ⅱ			4
				食品品質学特論Ⅲ			2
				食品品質学演習Ⅲ			4
				食品加工機能学特論			2
	栄養教育論			栄養管理学特論Ⅲ			2
	臨床栄養学			栄養管理学特論Ⅰ			2
				栄養管理学演習Ⅰ			4
				栄養管理学特論Ⅱ			2
				栄養管理学演習Ⅱ			4
	公衆栄養学			栄養管理学特論Ⅳ			2
				公衆栄養学特論Ⅰ			2
				公衆栄養学演習Ⅰ			4
				公衆栄養学演習Ⅱ			2